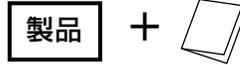


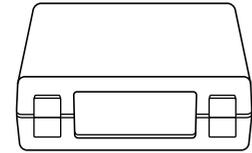
取扱説明書 (品番：THC)

この度はPIVOT 製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書はよくお読みいただき大切に保管してください。

- 製品を他の人へお譲りする場合は、必ず取扱説明書(本書)をお付けください。



3 drive・COMPACT THROTTLE CONTROLLER



目次

ご使用のまえに・警告・注意	1	手順3 初期設定(アクセル開度設定)	5
内容物	2	操作方法	6~7
特長	2	故障かな?と思ったら	7
手順1 配線接続方法	3~4	変化特性例	8
手順2 製品の固定・各部の名称	4		



装着後は必ず「初期設定」をする

製品装着後はクルマの特性を設定する「初期設定」(⇒5ページ)を必ず行ってください。「初期設定」を行わないとクルマ側の **チェックランプ** が点灯する場合があります。また、モード表示を換えても **ノーマル状態** のままです。

作業が不安な方

本製品は配線接続など一部専門知識が必要ですので、作業が不安な方は販売店にご相談ください。

専用ハーネスは3-drive用を使用

不具合の原因となりますので、専用ハーネスは必ず3-drive用をご使用ください。

製品の取り外し時はノーマルモード

製品を取り外す時は、**nor**(ノーマル)モードにしてください。他のモードで接続すると、**チェックランプ**が点灯する場合があります。

製品改造の禁止

本製品の改造は、クルマ側の不具合や製品故障の原因となり、走行にも影響を及ぼしますので絶対にしないでください。

警告

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

- 初期設定はギヤをPまたはNにし、エンジン停止状態で行ってください。エンジン動作中は危険ですので初期設定を行わないでください。
- 換気の悪い場所で作業しないでください。排気ガス中毒や引火等で人体への危険があります。
- 走行中のスイッチ操作や表示の注視は大変危険ですのでおやめください。
- コードの被ふくを傷つけないでください。ショート、接触不良等による火災の危険があります。
- 配線処理や製品固定は運転の支障や接触不良とならない状態にしてください。

注意

右記内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性と、製品その他に物質的損害が発生する可能性があります。

- 間違った設定や使用方法による車輛、製品、事故等の問題には弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- 装着できる車種かどうかは、3-drive・COMPACT 対応車表でお確かめください。
- 本製品の装着には専門知識が必要です。不安な方は販売店などにご相談ください。
- 間違った装着・設定をすると、チェックランプが点灯する場合があります。
- エレクトロタップは使用しないでください。
- 配線は付属のカットギボンまたは半田付けで行い、配線部は絶縁テープで確実に絶縁し、芯線等が突き出ていないかをお確かめください。
- お手入れは乾いたやわらかい布(めがね拭き)で拭いてください。
- アルコール・ベンジンなどは使わないでください。プラスチックが割れたり塗装面を傷めたりします。
- 加工・分解および改造は行わないでください。

ご使用のまえに

製品の特長

配線接続の方法

製品の固定

初期設定

操作方法

お困りのときは

制御特性

内容物をご確認ください



本体
[60×22×55 (D) mm]



延長用
黒コード



両面テープ
[25×35mm]
×2



カットギボシ
×4



インシュロック
バンド
×2



取扱説明書
(本書)

特長

SPORTS & ECO

加速と燃費をコントロール！

レスポンスの高い走行にはSPORTSモード
低燃費、乗り心地、滑りやすい路面ではECOモード

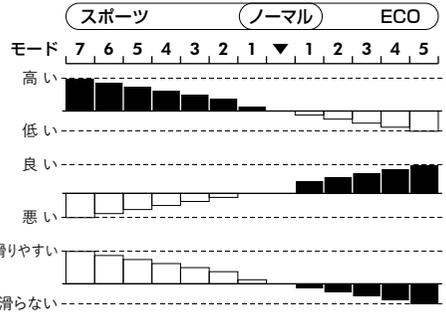
走り方で選べるお好みのレスポンス。

3-drive・COMPACTは電子式スロットル車のレスポンスが
変更でき、スポーツ走行から加速を抑え低燃費となるエコ
運転まで幅広くご使用いただけます。

レスポンス

燃費

路面グリップ
(加速時)



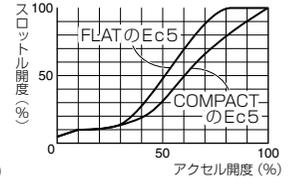
※ECOモードでも急加速運転を繰り返すと燃費は向上しません。

性能

SPORTS MODE	レスポンスが高くなるスポーツ状態。 (サーキットや山道などで最適)
ECO MODE	レスポンスの低いエコ運転状態。 (市街地など低燃費走行に最適)
NORMAL MODE	純正状態。
アクセルモニター	アクセルの踏み込み量を表示し、 踏み込み過ぎによる燃費悪化を防止。
3モード12段階	ワンタッチで選べる3モード12段切換。 (スポーツ=7段 ECO=5段切換)
小型一体ボディ	小型一体のコントローラーは小物入れ・ アンダーカバーなど目立たない場所から ハンドル付近等まで装着が可能。
モードメモリー + セーフティスタート	エンジン始動時は「前回使用モード」「ノーマル」 そしてSP4以上に設定時SP3に戻す 「セーフティモード」の3種類が選択可能。
簡単取付	装着は車種別専用ハーネス(別売品)で簡単取付。

ECOモードアップ

COMPACTのECOモードは
アクセル全開時の出力信号を
純正の80%に下げ、より燃
費効果を高めました。
(グラフ=3-drive・FLATとの
Ec5での変化比較例
車種：ススキ スイフト (ZC31S))



初期設定方式

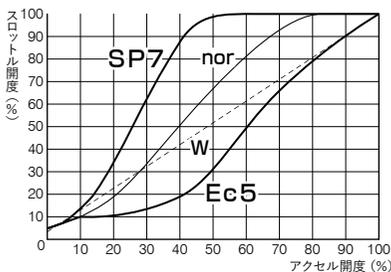
クルマごと異なる電圧特性を装着後に一度
「初期設定」を行うことで安定した制御が可能。

安全性

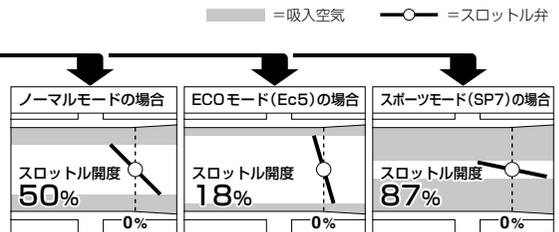
1. 急発進を防ぐ純正特性に応じた同率変化。
2. 必要に応じ配線をすればリバース時はノーマル制御も可能。
(SPモードのみ)
3. 配線・回路不具合時はノーマル復帰。※1
4. 安心の2信号独立制御。

※1 点検等で故障診断コネクタを使用する際は、OBDコネクタを外してもノーマル復帰しますのでクルマへの影響はありません。

スロットル開度変化例



アクセル開度
40%例



SP7=スポーツモード7段階(最大) W=ワイヤー式スロットル車
Ec5=Ecoモード5段階(最大) nor=ノーマル
車種=ススキ スイフト (ZC31S)

※スポーツモードは7段階、ECOモードは5段階の調整が可能です。
※バルブマチックエンジンなどを採用している一部車種では、スロットルバルブでなく吸気バルブで制御を行っている場合があります。

手順 1

配線接続方法

配線の準備

アクセラコネクターの取り外しは

⚠️ キースイッチOFF後 15分以上経過してから行ってください。

車種によってはチェックランプ点灯の原因になります。
(チェックランプ消灯方法⇒7ページ)

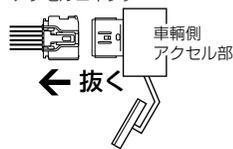
キースイッチをOFFにする。



15分以上経過

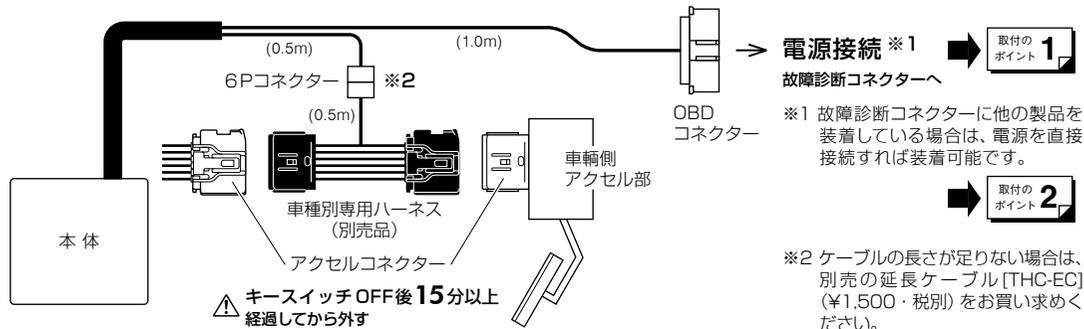


アクセラコネクターの取り外し



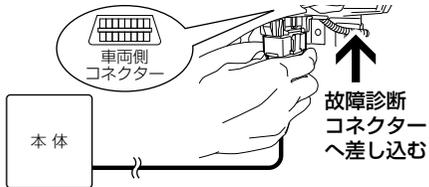
基本配線

取付の際は車種別専用ハーネスを必ずご使用ください。



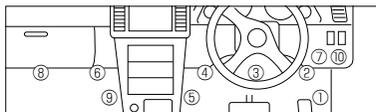
取付のポイント 1 電源接続

キースイッチOFF時にOBDコネクタを差し込む。



※点検等で故障診断コネクタを使用する際は、OBDコネクタを外してもクルマへの影響はありません。

【資料】故障診断コネクタ位置図



トヨタ	①②③④⑦	マツダ	②④⑩
ニッサン	①②③④⑤⑦	スバル	②③
ホンダ	②④⑤⑥⑧⑨	スズキ	②④
ミツビシ	②③④⑤	ダイハツ	②③④⑤
BMW・MINI	②③④⑤	VW・AUDI	②③④

- ① アクセルペダル脇
- ② 運転席足元右側 (フタ付の場合あり)
- ③ 運転席足元中央
- ④ 運転席足元左側 (フタ付の場合あり)
- ⑤ センターコンソール右脇
- ⑥ 助手席足元右側
- ⑦ ステアリング脇パネル裏 (フタ付)
- ⑧ 助手席足元左側
- ⑨ センターコンソール左側
- ⑩ ステアリング右パネル (小物入れ上部)

【参考1】OBDコネクタの取扱注意

差し込み時/抜き取り時はこの凸部を持って行う。

凸部が握れない場合

車種により、コネクタが奥まで入り凸部が握れない場合があります。

⚠️ 注意

抜き取り時にコードを持って引き抜くと断線の恐れがありますので絶対に行わないでください。

インシュロックの輪の部分を持って引き抜く。

取付のポイント 2 電源を他の場所に行く

故障診断コネクタが使用できない場合や、使用したくない場合は下記の配線を行ってください。

1 OBDコネクタからの(赤)と(黒)コードをカットしてください。

2 (赤)コードを用途に合わせてどちらかへ接続し、(黒)コードをアースへ接続してください。

常時電源(常時12V)
車輦ECU連動で表示部が消灯

or

IGN(キースイッチONで12V)
キースイッチに連動で表示部が消灯

■=カットギボン

ご使用の

製品の

配線接続

製品の

設置初期

操作方法

お困りの

制御特性

リバース配線について

リバース配線を行うとSPモードでのリバース（後退）時ノーマル状態に自動的に切り換わります。

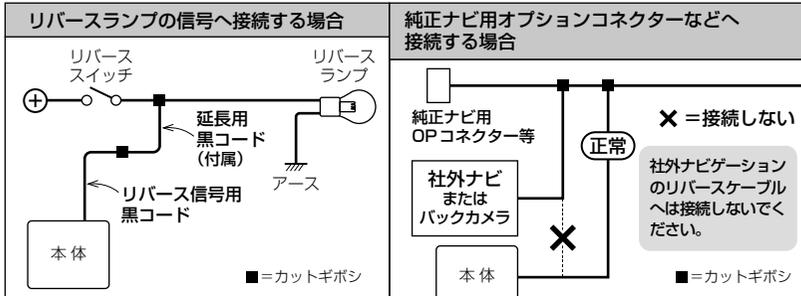
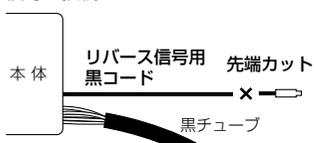
⚠ リバース配線は通常必要ありません

リバース時のアクセル開度は小さく、急加速はしませんので、必ずしもこの配線を行う必要はありません。

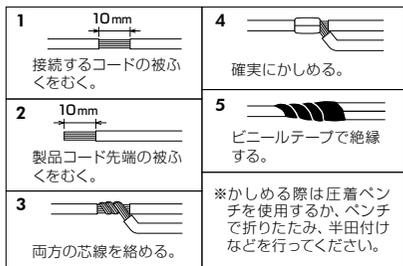
接続場所：リバースランプ信号	接続の確認
キースイッチ ON 状態（エンジンは始動しない）で P （パーキング）または N （ニュートラル）時 = 0V R （リバース）時 = 12V	 リバース信号が入力されると各モードともドットが点灯し、SPモード時のみノーマルモードに切り換わります。

接続方法

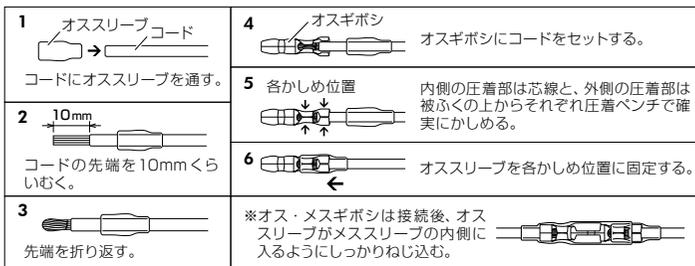
コードを束ねてある黒チューブから黒コードを抜き出して先端の収縮チューブをカットし、付属の延長用黒コードを接続し、リバースランプ信号へ接続してください。



【参考2】 カットギボシの使い方



【参考3】 オスギボシの使い方



手順 2

製品の固定



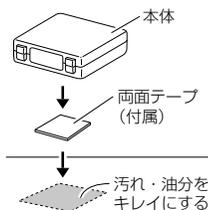
誤作動防止のため磁石を使ったスマホ用等の固定部品は使用しないでください。



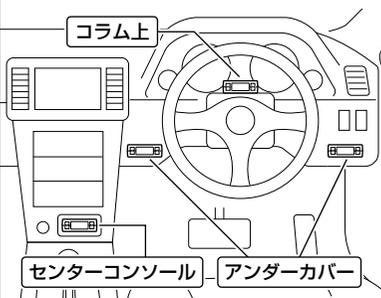
コードは鉄板やネジ等で被ふくが傷つきショートしないよう束ねて処理してください。

（装着方法）

操作しやすく表示が見やすい場所に両面テープで固定してください。



（装着場所例）



各部の名称

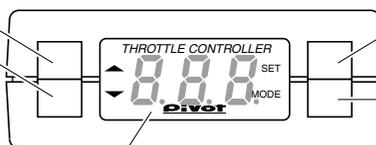
1 UPスイッチ

2 DOWNスイッチ

- 各モードの変化率切り換え
- 再始動時のモード設定切り換え

3 表示部

- 各モード表示
- アクセル開度表示（10～100%）
- 各設定表示



4 SETスイッチ

- 各設定用

5 MODEスイッチ

- 各モード切り換え

表示部の消灯について

※本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチOFFから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。（OBDコネクター接続または常時接続の場合）

手順 3

初期設定 (アクセル開度設定) 必ず行ってください。

はじめて装着したとき



初期設定

違うクルマに装着したとき



初期設定

- この作業はクルマのアクセル特性を製品に設定するためのものです。
- 設定を行わないとモード表示を換えてもノーマル状態のままです。
- この作業を行わないとチェックランプが点灯する場合があります。

初期設定作業のまえに

1. 設定はすべての配線 (コネクタ装着) 後に行ってください。
2. 設定は **キー ON** ・ **エンジンを始動しない** ・ ギヤ位置 **P** (パーキング) または **N** (ニュートラル) で行ってください。

【設定方法】

操作手順	本体表示部
1 キースイッチ ON にする (エンジンは始動しない) プレーキ踏まず 2 回押す	nor (nor 表示) 表示が nor 以外の場合 は、MODE スイッチを押 し、nor にしてください。
2 SET スイッチを 12 秒 長押しし表示を 0 にする 0 まで押す	Err 点滅 ↓ - 5 - - 4 - ... - 0 - cAr 点滅表示後、 5~0 カウントダウン
3 表示 0 で SET スイッチはなす はなす	(例)※1 L 1.5 電圧表示 (例=L1.5)
4 アクセルを踏まない (アクセル 0% 状態にする) 	(例)※1 L 1.5 電圧表示 (例=L1.5)
5 SET スイッチ押す 押す → 0% 状態を設定	SEt (SEt 表示)
6 アクセルを奥いっぱいまで 踏み込む (アクセル 100% 状態にする) 	(例)※1 H 4.5 電圧表示 (例=H4.5)

操作手順	本体表示部
7 アクセル 100% 状態で SET スイッチ押す 押す → 100% 状態を設定	SEt (SEt 表示) ↓ nor (nor 1 秒表示) ↓ 100 (100 表示)
8 表示が 100 に変わったら アクセルをはなす 	100 (100 表示) ↓ nor (nor 表示)
9 設定完了 他のクルマに装着する時は必ず再設定を行ってください。 設定後にバッテリーや配線を外した場合の、初期設定は不要です。	

設定の確認 ※表示が違う場合は再度 2 から行ってください。

アクセルを踏まない 0% 	nor (nor 表示)
アクセルを踏み込む 100% 	100 (100 表示)

※アクセルの特性上またはアクセルの踏み方によって A99 (99%) の表示になる場合があります。



7 で Err 表示になる場合

Err 表示後 4 の表示 (L1.5 など) に戻る場合はアクセル開度設定が確実にできていません。もう一度 4 から設定をやり直してください。

※1 各表示数値は車種により異なります。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

必ず
行って
ください。

操作
方法

お困り
の
ときは

制御
特性

操作方法

! 操作完了後2秒間はキースイッチをOFFにしないでください。
設定が記憶されません。

モードと変化率の切り換え

ノーマル・ECO・スポーツの各モードとECOモードとスポーツモードでの変化率を切り換えます。

スポーツモードは数字が大きい側がレスポンスが強く、ECOモードは数字が大きい側がレスポンスが弱いエコ（低燃費）状態です。

1 キースイッチON (エンジン始動)



2 MODEスイッチ 押すごとに切り換わり



ECOモード ノーマルモード スポーツモード

Ec0 ↔ nor ↔ SP0

※安全上モード切換は必ず nor (ノーマル) を経過します。

3 2で Ec 表示中 UP/DOWNスイッチ 押すごとに切り換わり

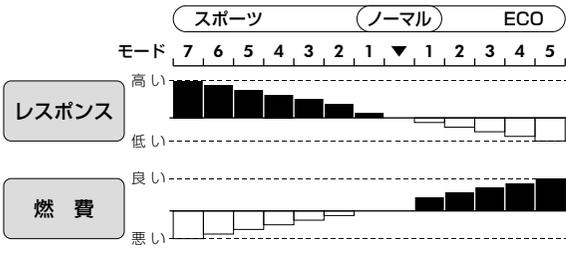


2で SP 表示中 UP/DOWNスイッチ 押すごとに切り換わり



モードの切り換えを行っても各変化率は変更されません。
エンジン再始動時のモードについては、⇒7ページ【再始動時のモード設定】をご覧ください。

各変化率でのレスポンスと燃費の変化例

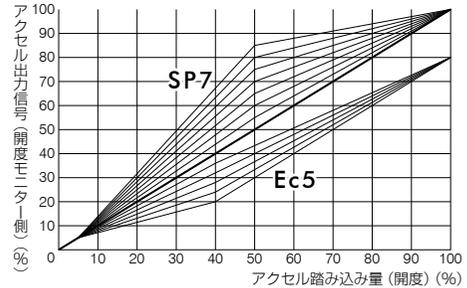


※ECOモードは純正状態よりも加速を下げた低燃費走行が行えますが、意図的に急加速運転をすると燃費は悪化します。
※レスポンス変化はパワーの大きいクルマほど大きくなります。

基本制御特性

各変化は全域で段付のないスムーズな制御が行えます。

アクセル踏み込み量 (開度) 対アクセル出力信号



アクセル開度モニター

アクセルの踏み込み量を表示します。(出力信号側) [10~100%まで1%単位]

- アクセル開度モニターはアクセルを踏まない状態を0とし、奥まで踏んだ状態を100としてECU側に出力する開度率です。
 - 表示は10%以上で表示します。
- ※ Ecモードでは100%踏んでも出力信号は80%となります。
※ アクセルセンサーの特性上またはアクセルの踏み方によっては99%までの表示になる場合があります。



アクセル開度 (出力側) 20%時

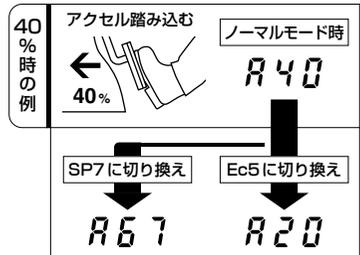
用途 1 エコ運転時のアクセル操作チェック

発進から加速時に低燃費となるアクセル開度は約15~25%以内です。エコ運転時はECOモードと併用されると効果的です。



用途 3 制御状態のチェック

キースイッチON (エンジン停止) 状態でノーマルモードでアクセルを40% (A40) まで踏み込み、モードをSP7にすると表示は出力67% (A67) となり、Ec5では20% (A20) となります。
[⇒上記 基本制御特性グラフ参照]
※表示は多少異なる場合があります。



用途 2 運転中のアクセル操作チェック

ECOモード以外でもアクセル開度がチェックできますので各変化設定のチェックなどにご利用ください。

再始動時のモード設定 [セーフティスタートの設定]

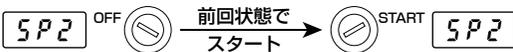
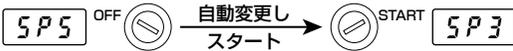
エンジン始動時のモードを「前回使用モード」、「ノーマル」、「セーフティモード」の3種類から選択できます。

表示	名称	再始動時の状態
Loc	ロック	キースイッチOFF時のモードと変化率
nor	ノーマル	ノーマルモード
SrF	セーフティモード	キースイッチOFF時スポーツモードがSP4以上の場合SP3へ自動変更

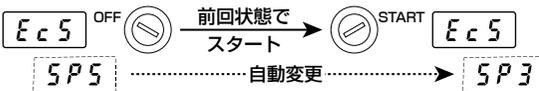
セーフティモードについて

キースイッチOFF時のスポーツモードの変化率がSP4以上の場合、再始動時にSP3に自動で変更され、安全性がより向上しました。ノーマルモード・ECOモードでキースイッチOFFにした場合も、スポーツモードの変化率がSP4以上の場合と同様にSP3に自動変更されます。

●スポーツモードでキースイッチOFFにした場合



●ノーマル・ECOモードでキースイッチOFFにした場合



操作手順	本体表示部
1 SPモードにする	SP0
2 現在の設定が表示されるまでSETスイッチを押す SET 長押し	5秒点滅 ↓ (例) nor 現在の設定を表示 (出荷時=ノーマルモード)
3 UP/DOWNスイッチ押すごとに切り換わり アップ ダウン 押す	Loc (ロック) DOWN ↑ UP nor (ノーマル) DOWN ↓ UP SrF (セーフティモード)
4 5秒間操作なしでモード表示に戻る	SP0
5 設定完了	

故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
キースイッチONで表示が点灯しない。	OBDコネクタ(6Pコネクタ)の接続不良。 (赤)(黒) コードの配線間違い、または接続不良。 専用ハーネスの接続不良。 専用ハーネスの品番間違い。	再度ご確認ください。
チェックランプが点灯した。 	「キー ON」または「キー OFF後15分以内」にアクセルコネクタまたは(専用ハーネス)を抜いた。 「初期設定」が行われていない。	抜いたコネクタを元に戻し、下記「チェックランプ消灯方法」に従って消灯させてください。 本書(⇒5ページ 手順3「初期設定」)に従ってアクセル開度設定を行い、下記「チェックランプ消灯方法」に従って消灯させてください。
初期設定中にErr表示になる。	「初期設定」が正確に行われていない。	本書(⇒5ページ 手順3「初期設定」)に従ってアクセル開度設定を行ってください。
モードを切り換えても変化が体感できない。	「初期設定」が正確に行われていない。	本書(⇒5ページ 手順3「初期設定」)に従ってアクセル開度設定を行ってください。
リバース時にnor(ドット点滅)表示にならない。	リバース配線の間違いまたは接触不良。 社外ナビのリバースケーブルに接続している。 リバースランプをLEDに交換している。	再度ご確認ください。 本書(⇒4ページ)に従ってリバース配線を行ってください。 ●リバースランプを電球に戻してください。 ●リバース配線を行わないでください。
モードまたは設定の記憶ができない。	モード切り換えまたは設定完了後すぐにキースイッチをOFFにしている。	モード切り換えまたは設定完了後2秒以上経ってからキースイッチをOFFにしてください。
キースイッチをOFFにしても表示が点灯している。	本製品はクルマのECU電源に連動しています。そのため、車種によってはキースイッチOFFから表示が消えるまで最長15分かかりますが、正常な動作です。	

ヒント

チェックランプ消灯方法

間違った操作などでチェックランプを点灯させてしまった場合は、下記の方法で消灯させてください。

- ① 正常状態でエンジン始動と停止を数回繰り返してください。
- ② ①を行っても消灯しない場合は、バッテリー(+)端子を10分程度外してください。
- ③ ①②を行っても消灯しない場合は、カーディラーなどで専用機器を使用して消灯作業を行ってください。



ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

操作
方法

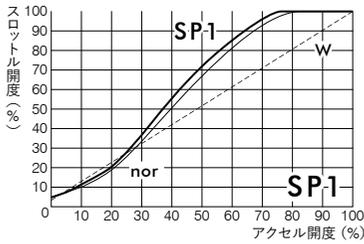
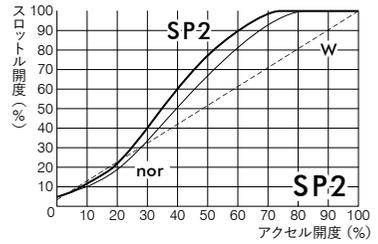
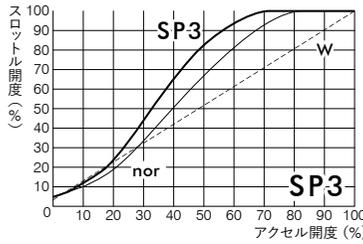
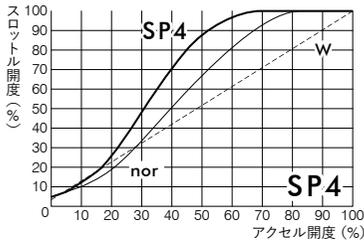
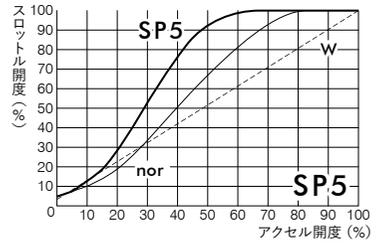
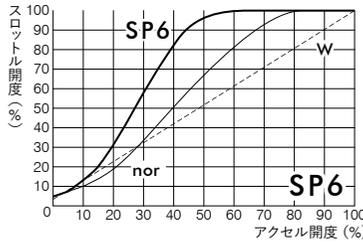
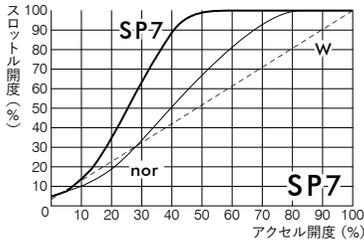
お困り
の
とき

制御
特性

変化特性例

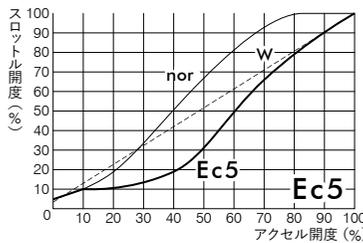
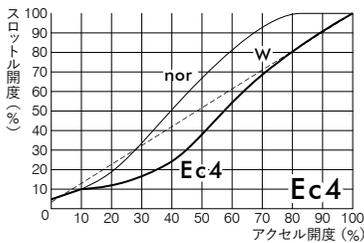
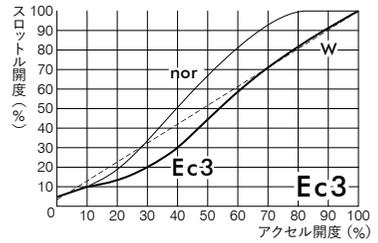
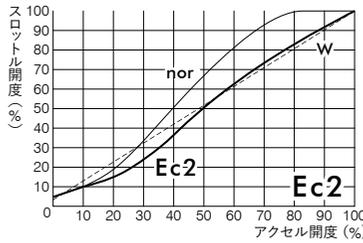
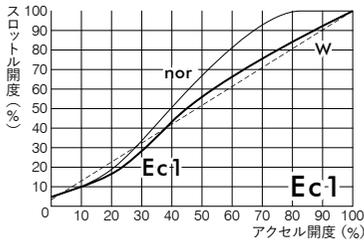
※データはスワフトスポーツのエンジン動作時の実測値です。 ※ワイヤー式が開始3%なのはバイパス通過分です。
 ※車種によって特性は多少異なります。 ※W=ワイヤー式スロットル車 nor=ノーマル

スポーツモード変化例



SP 1～3=ワイヤースロットル近似状態 (アクセル開度約 10～35% 領域)
 SP 4～7=上記+ハイスロ状態 (アクセル開度約 35% 以降)

ECOモード変化例



Ec 1～5=低加速状態 (アクセル開度全域)

※弊社製品には工業所有権出願中、または取得済みが含まれております。
 ※意匠、制御特性、回路、回路配置などの類似品には不正競争防止法等の法的処置が近年厳しく適用される場合があります。
 ※PIVOT マーク無断使用や説明書の無断転載は固くお断りします。

ご使用の
まえに

製品の
特長

配線
接続
方法

製品の
固定

初期
設定

操作
方法

お困り
の
ときは

制御
特性